

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	母性援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	2年生教室
担当教員	中井 京子 田中 祥子	実務経験と その関連資格	医療施設にて助産師としての勤務後、助産師教育の経験を有す。			
《授業科目における学習内容》						
母性看護に必要な看護技術を習得するとともに、正常経過をたどる褥婦に対するウェルネス看護過程の展開を学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
課題提出物、出席状況で評価する。提出物100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 南江堂						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために予習・復習を行い、自主的に調べ学習をすること。						
《履修に当たっての留意点》						
専門基礎分野の生体機能学Ⅱ(生殖・発生と老化のしくみ)、専門分野Ⅱの母性援助論Ⅰ・Ⅲの復習をして講義に臨むこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 産褥期の看護について復習する(30分) 事後学習 紙上事例について情報の分類・整理を行なう(30分)	
		各コマにおける授業予定	ウェルネス看護過程の考え方、母性看護過程の展開、記録について学ぶ。 紙上事例について情報の分類・整理を行う。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 紙上事例について情報の分類・整理を行なう(30分) 事後学習 紙上事例について情報の分類・整理を行なう(30分)	
		各コマにおける授業予定	紙上事例について情報の分類・整理を行う。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分) 事後学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分)	
		各コマにおける授業予定	紙上事例について情報の解釈・分析を行う。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分) 事後学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分)	
		各コマにおける授業予定	紙上事例について情報の解釈・分析を行う。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分) 事後学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分)	
		各コマにおける授業予定	紙上事例について情報の解釈・分析を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 紙上事例について情報の解釈・分析を行なう(30分) 事後学習 看護計画を立案する(30分)
		各コマにおける授業予定	情報の解釈・分析に基づき看護診断・看護計画の立案を行う。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 全身・生殖器の復古促進の援助について調べる(30分) 事後学習 グループで再検討した看護計画に基づき動けるよう、観察方法・援助方法・保健指導内容について具体的に考える(30分)
		各コマにおける授業予定	個人で立案した看護計画を持ち寄りグループで再検討、退行性変化促進、進行性変化・授乳行動促進に対する看護計画を立案し、援助ができるよう話し合う。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 グループで再検討した計画に基づき観察・援助・保健指導について具体的に考える(30分) 事後学習 退行性変化促進に対する看護についてまとめる(30分)
		各コマにおける授業予定	グループで立案した看護計画に基づき、退行性変化促進に対する看護を展開し(ロールプレイング)、実施・結果・評価について記録を行う。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して産褥期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 グループで再検討した計画に基づき観察・援助・保健指導について具体的に考える(30分) 事後学習 進行性変化促進に対する看護についてまとめる(30分)
		各コマにおける授業予定	グループで立案した看護計画に基づき、進行性変化促進に対する看護を展開し(ロールプレイング)、実施・結果・評価について記録を行う。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して分娩期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 事例を読み込み、アセスメントに必要な資料を準備する(30分) 事後学習 分娩期期の看護について調べる(30分)
		各コマにおける授業予定	グループで分娩第I期のアセスメントを行う。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して分娩期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 分娩第1期の看護について調べる(30分) 事後学習 グループで再検討した看護計画に基づき動けるよう、観察方法・援助方法・保健指導内容について具体的に考える(30分)
		各コマにおける授業予定	グループで行なったアセスメントに基づき看護計画を立案し、援助ができるよう話し合う。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	④事例を通して分娩期の看護過程が展開できる。	教科書 配布資料	事前学習 グループで再検討した計画に基づき観察・援助・保健指導について具体的に考える(30分) 事後学習 分娩第I期の援助についてまとめる(30分)
		各コマにおける授業予定	グループで立案した看護計画に基づき、分娩期の看護を展開し(ロールプレイング)、実施・結果・評価について記録を行う。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	③母性看護に必要な看護技術を習得する。	教科書 配布資料	事前学習 妊婦の触診・聴診・計測真診について調べる。(30分) 事後学習 ワークシートに沿って自己評価を行なう。妊婦の外診方法・授乳方法についてまとめる(30分)
		各コマにおける授業予定	模型を使用し妊婦の診察介助、観察を行う。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	③母性看護に必要な看護技術を習得する。	教科書 配布資料	事前学習 ワークシートに沿い、新生児の沐浴方法・留意点について調べる(30分) 事後学習 ワークシートに沿い、新生児の沐浴方法・留意点について追加学習する(30分)
		各コマにおける授業予定	新生児の沐浴、更衣、おむつ交換、調乳について、方法・留意点を考える。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	③母性看護に必要な看護技術を習得する。	教科書 配布資料	事前学習 新生児の沐浴実施に向け、方法・留意点についてイメージトレーニングを行なう(30分) 事後学習 ワークシートに沿い、新生児の沐浴実施後の自己評価、所感記入を行なう(30分)
		各コマにおける授業予定	安全・安楽に留意しながら模型を使用し、新生児の沐浴、更衣、おむつ交換を実施する。		